

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	呉市立昭和北小学校		
学校長氏名	品川 美保子	栄養教諭氏名	村上 綾
職員数	48名	児童・生徒数	711名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 朝食の内容や量に課題がある。
- 毎日朝食を食べる習慣がついていない児童が固定化している。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 毎日朝食を食べる児童 → 100%
- 早寝・早起き・朝ごはん・適度な運動をさせている家庭 → 90%以上
- 朝食に赤・緑・黄の3つのグループ食品をそろえて食べる児童 → 90%以上
- 保護者や地域と連携した食育の取組 → 年5回実施

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 早ね・早起き・バランスのよい朝ごはんの取組

生活朝会において、教職員による食育劇で「早ね・早起き・バランスのよい朝ごはん」の大切さを児童に啓発した。また、学校のホームページや通信でその時の様子や大切さを家庭



教職員による食育劇

に発信した。さらに、時期を合わせ、基本的生活習慣を整えるため「にこにこチャレンジカード」によって1週間、家庭と連携して実践できるよう取り組んだ。

【取組2】（テーマ） 保護者や地域と連携した取組

- 1学年 「給食を楽しむ会」 PTAの学級部と連携し、1年生と転校生の保護者を対象に「給食を楽しむ会(試食会)」を開き、給食時間の参観、給食の試食、栄養教諭の講話などを通して給食や食育の現状について知らせた。
- 3学年 総合的な学習の時間「みそ作りにチャレンジしよう」 地域の工場「ますやみそ」と連携し、自分たちで育てた大豆を使って、みそ汁作りを行った。
- 5学年 総合的な学習の時間「米作り」 地域のゲストティーチャーを招き、土作りや田植え、稲刈りなど米作りについて教えていただきながら学校田で稲を育てた。また、学校で収穫した米を使って、ライスパーティーを開き、ゲストティーチャーを招待し、収穫を祝うとともに感謝の気持ちを伝えた。
- 6学年 総合的な学習「ふるさと焼山を知ろう」 地域の女性会をゲストティーチャーに招き、郷土料理「八寸」についてその由来や作り方を教わりながら一緒に調理した。また、お世話になった地域の方を招き、共に食べることにより、感謝の気持ちを伝えるとともに、伝統を受け継ぎ伝えようという意欲を高めた。



米作り



女性会との八寸作り

- 全学年 「交流給食」 お世話になっている交通安全指導員や絵本の読み聞かせボランティア、授業でお招きしたゲストティーチャーを各クラス1～2名給食時間に招き、一緒に給食を食べながら楽しく交流し、手紙などで感謝の気持ちを伝えた。



交流給食

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- 呉市の栄養教諭・学校栄養職員が集まり、「ひろしま給食」の調理研究を行い、広島県内の食材を使って、特色ある呉市の統一献立になるよう検討した。
- 給食だよりや学級掲示用資料を作成・配布し、啓発した。給食放送や給食時間の教室訪問でも家庭で作って食べようと声かけをした。
- 夏休みに実施する親子料理教室で「ひろしま給食」を献立メニューにすることにより、家庭に広がるようにした。さらに、ホームページや通信で料理教室の様子やレシピを発信し、参加していない家庭へも啓発した。
- 「ひろしま給食100万食プロジェクト」出前講座を活用し、日本食の料理人を講師に招き、5年生が出汁のとり方を教わった。



親子料理教室



出前講座（出汁のとり方）

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 毎日朝食を食べる児童 → 97.7%（昨年96.9%）
- 早寝・早起き・朝ごはん・適度な運動をさせている家庭 → 7月・91% 12月・89%
- 朝食に赤・緑・黄の3つのグループ食品をそろえて食べる児童 → 88.2%（昨年87.5%）
- 保護者や地域と連携した食育の取組 → 年6回実施

6月に実施したアンケートや「にこにこチャレンジカード」から、毎日朝食を食べる児童や朝食に赤・緑・黄の3つのグループの食品をそろえて食べる児童の割合が昨年より高くなった。保護者や地域と連携した食育の取組は年間計画に位置づけ計画的に実施できた。また、「にこにこチャレンジカード」の保護者コメントでは、「バランス良く食べることで親も元気な1週間を過ごせた」「子どもが自分で朝食を作って楽しんでいた」など家庭にも広がる取組となった。親子料理教室のアンケートから、「家でもお手伝いをしようと思う」という児童や「親子で楽しく料理することができた」という保護者の声がたくさんあり、料理実践の意欲へとつながった。

【課題】

早寝・早起き・朝ごはん・適度な運動をさせている家庭は、7月より12月の割合が減ってきている。寒く、暗くなる冬の季節に生活習慣が乱れがちになることが原因ではないかと考えられる。

6 今後の取組に向けた改善方策について

校内の健康に関する取組のカードなどを個人ファイルにまとめ、児童自身の振り返りや、カードから見える課題を懇談会の資料にするなどして、個別指導につなげるようにする。